

実績報告書

届出者	住所	大阪市天王寺区悲田院町10-48	氏名	天王寺S.C.開発株式会社 代表取締役社長 大橋 幸之助
特定事業者の主たる業種		69不動産賃貸業・管理業		
該当する特定事業者の要件		レ	大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第1号に該当する者	
			大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第2号に該当する者	
			大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第3号イ又はロに該当する者	
事業の概要		物販・飲食・サービス店舗への賃貸業務 ショッピングセンターの運営管理		

◎ 温室効果ガスの削減目標の達成状況

(1)計画期間	
2017年	4月
1日	～
2020年	3月
31日	(3年間)

(2)前年度における温室効果ガス総排出量

区分	基準年度(2016)年度	前年度(2017)年度
温室効果ガス総排出量	8,391 t-CO ₂	8,350 t-CO ₂
温室効果ガス総排出量(平準化補正後)	9,311 t-CO ₂	9,280 t-CO ₂
植林・緑化、森の保全による二酸化炭素の吸収量		0 t-CO ₂

(3)温室効果ガスの削減目標の達成状況

区分		削減目標 (2019年度)	第1年度 (2017年度)	第2年度 (年度)	第3年度 (年度)
選択	レ	削減率(排出量ベース)	3.0%	0.5%	%
		削減率(原単位ベース)	%	%	%
削減率(平準化補正ベース)		3.0%	0.4%	%	%
吸収量による削減率		%	%	%	%

温室効果ガスの排出に係る原単位の設定内容(目標削減率(原単位ベース)を選択した場合のみ記入)

温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値	()
(温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値を複数設定した場合の設定方法)	

◎ 事業活動に係る温室効果ガス排出及び人工排熱の抑制並びに電気の需要の平準化対策

(1)温室効果ガスの削減状況についての見解(計画の最終年度に目標が達成できなかった場合、その理由)

<p>前計画期間に、照明のLED化がほぼ完了したこともあり、大幅な削減が難しくなっているが、点灯時間のこまめな調整や空調機等の運転時間の調整により電気使用量の削減ができた。ガス使用については、夏場の気温が高かったことや、ピーク電力の抑制のため、ターボ冷凍機を吸収式冷凍機に切り替えたりしたことで、微増となった。</p>

(2) 推進体制

省エネルギーに関するプロジェクトチームを設置し、省エネに対する取組みを強化するとともに、知識を深め、社内勉強会の開催、テナントに対する意識喚起等を行うことで省エネの推進を図る。